

## 福祉サービスなど第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	社会福祉法人京都市よしだ学園	施設種別	就労継続支援B型事業 (旧体系)
評価機関名	一般財団法人社会的認証開発推進機構		

令和3年3月17日

総 評	<p>京都市よしだ学園は、京都大学の南側の吉田山の麓にあり、近くには本山修験宗総本山聖護院門跡や近衛中学校など、閑静な住宅地に立地しています。</p> <p>吉田山清掃の参加や、町内会開催時の会場の提供、五山送り火の際の屋上解放など、地域に溶け込んだ事業所運営により、近隣との良好な関係を築くなかで、就労継続支援B型事業所として、知的障害のある利用者に働く場を提供するとともに、知識や能力の向上のために必要な支援やサービスを提供しています。</p> <p>「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づき、「知的障害のある方一人ひとりが心豊かで快適な生活が営めるように、利用者ご本人とご家族の意向に沿って個別支援計画を作成し実施に努めます」を事業方針として、障害のある利用者本人の能力向上とともに、就労への意識や関心を持てるような支援を実施している状況を聞き取ることができます。</p> <p>ネギの商品出荷作業や菓子箱の組み立て、菓子詰めなどの下請作業や自主製品づくり、最近では利用者がデザインしたキーホルダーの作成にも力を入れて取り組まれています。</p> <p>また、栄養バランスの取れた温かい食事の提供やカラオケなど日々の生活を楽しく豊かに過ごしていただくなど、就労場面と生活場面のメリハリのある支援の工夫が行われています。</p> <p>これらの実践に関する状況は、京都市よしだ学園ホームページや事業所案内のページで管理者自らの意向表明により確認することができます。</p> <p>週に1回程度開催している支援会議においては、「ヒヤリハット」や特殊なケース事例などをテーマとした支援のあり方に関するカンファレンスを定期的に行い、支援員同士の連携・チームワークの向上にむけた取組みを重点事項として行われており、高く評価できるものと考えています。</p> <p>前回の第三者評価受診の結果を踏まえ、平成30年から中期ビジョンを策定し事業所のホームページで公開するなどの取組み状況がうかがえます。</p> <p>しかし、これからの事業所を取り巻く要支援及び支援ニーズ環境を踏まえた数値目標や具体的な成果目標は盛り込まれておらず、これらを課題として認識されています。</p> <p>就労作業メニューについては社会的ニーズや利用者の高齢化に伴い、段階的に変更検討の必要性が想定されています。</p> <p>中期的なビジョンの中で、より具体的な就労支援のあり方や方向性の検討が必要であるとともに、人事評価制度が導入されたばかりとの説明を受けましたが、より安定的な人材確保と人材育成に関しても中長期的な視点での取組みが必要となります。</p> <p>施設の老朽化や安定的な利用率の確保など、経営的な側面での課題</p>
-----	---

	<p>認識と、地域に対する事業所の専門性の発揮と公益的事業展開に関する課題認識をもたれています。</p> <p>他法人の先進的な取組みや各種関係団体との連携及び協働により、具体的な公益事業の実施につながられますことを期待しています。</p>
<p>特に良かった点(※)</p>	<p><b>I-3-(2)</b> 事業計画は支援会議や全体会議を通じて、職員の意見の集約・反映に基づいて、組織的に策定されている状況を聞き取ることができます。</p> <p>また、ネギの商品出荷作業など、利用者の状況や作業ニーズに沿って、年度内においても見直しを行い適切な作業状況を考えるなど、事業計画の評価及び見直し変更が行われている状況を見受けることができます。</p> <p><b>A-2-(9)</b> 日常的な支援場面での対話や定期的な面談を通じて、障害のある利用者一人ひとりの就労作業や生活力を引き出すための工夫や取組みが行われている状況を聞き取ることができます。</p> <p>作業工賃は「利用者工賃規定」に基づいて、利用者本人の意向・適正を汲み取り、評価見直しのなかでチャレンジの機会を設定するなど、就労意欲や生活力の向上にむけた支援実践が行われており高く評価できます。</p>
<p>特に改善が望まれる点(※)</p>	<p><b>I-3-(1)</b> 平成29年度に受診した第三者評価の指摘を踏まえ、平成30年度から中期ビジョンを策定し事業所のホームページで公開するなどの取組み状況がうかがえます。</p> <p>しかし、これからの事業所を取り巻く要支援及び支援ニーズ環境を踏まえた数値目標や具体的な成果目標は盛り込まれておらず、これらを課題として認識されています。</p> <p>利用者が高齢化していく中で、より具体的な就労支援のあり方が示されることを期待しています。</p> <p><b>II-4-(3)</b> 地域との関係については、町内会開催時の場の提供や五山の送り火の際に屋上を開放するなど、良好な関係が築かれている状況を聞き取ることができます。</p> <p>しかし、就労支援事業所としての専門性を活用した事業や地域の福祉ニーズに沿った公益的な事業活動については、さらに検討と工夫が望まれます。</p> <p>再度、事業所に求められている潜在的なニーズ把握に努められますとともに、中期的なビジョンをもって計画的に取り組まれますことを期待しています。</p> <p><b>III-1-(4)</b> 苦情解決担当者（窓口）や第三者委員の設置及び対応マニュアルは策定されているが、利用者本人からの要望、提案、公表の仕方などについての具体的な対応方法については規定しておらずこれらを課題として認識されています。</p> <p>再度、現状を評価・検証いただき、マニュアルの見直しも含め、支援実践及び福祉サービスの質の向上を意図した取組みとして、検討されることが望まれます。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

**I 福祉サービスの基本方針と組織**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念、基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a

**[自由記述欄]**

I-1-(1)①理念や基本方針は明文化され、法人のホームページや事業所玄関での掲示などにより職員周知されていることを確認したほか、障害のある本人に対してはルビを打った文書を配布、家族に対しては家族会で説明し、不参加の家族にはプリントを配布するなど、周知のための工夫をされていることを聞き取った。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 法人として事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	b
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b	a

**[自由記述欄]**

I-2-(1)①経営環境の把握については、左京区社会福祉協議会の会合に参加する他、法人の理事長が「育ちのネットワーク」のメンバーとして情報収集・交換をするなどし、得た情報は「施設会議」の場で共有されていることを聞き取った。しかし、把握された情報やデータが中長期計画や事業計画に反映されているとまでは言えない。  
②経営課題の把握・分析と改善に向けた取組については、支援会議等各種会議の場で共有されていることを会議録で確認した。また、農福連携等を通して利用者の作業選択の幅を増やし、工賃やボーナスアップにつなげるなどの取組が聞き取れたため、自己評価bをaとした。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 法人として中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	b
		5	② 中・長期のビジョンを踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	b
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	a
		7	② 事業計画は、障害のある本人等に周知され、理解を促している。	a	a

**[自由記述欄]**

1-3-(1)①中長期計画については、前回の第三者の評価結果を踏まえ、平成30年度より法人において策定されていることを「平成30年度 法人本部事業計画書」「令和2年度 法人本部事業計画書」及びホームページで確認したが、数値目標や具体的な成果などが反映されている状況は確認できなかった。  
②単年度の計画については、学園の「事業計画書」を確認したが、数値目標や具体的な成果の設定がみられなかった。  
1-3-(2)①事業計画の策定と実施状況の把握・見直しが組織的に行われているかについては、週に一回実施されている「支援会議」で、課題の把握、分析、検討などが行われ、計画に反映されていることが会議録で確認できた。  
②事業計画の周知・理解については、障害のある本人にはルビ打ちをした文書を配布して説明し、家族に対しては家族会で説明を行い、欠席者に対してはプリントを配布していることを聞き取った。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	a
		9	② 評価結果に基づき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	a

**[自由記述欄]**

1-4-(1)①福祉サービスの質の向上に向けてPDCAサイクルに基づく取組が行われ、評価の体制も整っていることを支援会議及び虐待防止会議の会議録により確認した。  
②取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施しているかについては、分析結果や課題が文書化できていないという理由で自己評価はbとしていたが、分析の過程や課題を明確にし、目標を立てて取り組んでいることが支援会議の会議録で確認できたため、a評価とした。

**II 組織の運営管理**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	b
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	a
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組にリーダーシップを発揮している。	a	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組にリーダーシップを発揮している。	b	a
【自由記述欄】					
II-1-(1) ①管理者の役割と責任については、「運営規程」に明記されていることが確認できたが、施設長自らの役割や責任を表明した広報誌などは確認できなかった。 ②遵守すべき法令等の理解については、労働法等、関連ある幅広い分野の法令が閲覧しやすい状態でファイリングされていることが確認できた。また、知っておくべき改正点などについては、各種会議での共有が会議録で確認できたほか、パソコン内の共有ファイルで閲覧できるように仕組みを聞き取ることができたため、自己評価bをaとした。 II-1-(2) ①福祉サービスの質の向上のために、施設長が「虐待防止委員会」「給食会議」「施設長会議」等の会議に参加し、現状分析や課題の把握、改善を行っていることを各種会議録で確認した。 ②経営の改善や業務の実効性を高める取組については、具体的な取組が出来ていないという理由で自己評価はbであった。しかし、ワークバランスの実現に向けた取組みや休憩時間が取りやすくなるよう職場の環境整備を行うなど、人事・労務・財務等に対して様々な取組を行っているとの説明を受けたため、a評価とした。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・養成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	b
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	a
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	a
【自由記述欄】					
II-2-(1) ①福祉人材の確保定着に関する取組については、「きょうと福祉人材育成認証」を取得しているほか、中期計画においても安定的な人材確保と人材育成の強化に向けた項目を設けていることを法人の「事業計画書」で確認した。また、法人での一括した採用活動の実施（R4年度～）に向けて取り組んでいるとの説明を受けたが、現時点では効果的な人材確保が実施できているとまでは言えない。 ②人事管理の総合的な取組については、今年度より人事評価制度を開始し、明確な人事基準を設け評価する仕組みが構築されていることが「人事考課規定」で確認できたため、自己評価bをaとした。 II-2-(2) ①働きやすい職場づくりについては、年次有給休暇が取りやすいよう事業所全体で環境整備を行い、年3回の面談の中で職員の悩み相談にも応じられる機会を設けるなどの取組が行われているとの説明を受けた。また、職員からも働きやすい職場であるとの話を聞き取ることが出来た。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・養成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	a
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	a
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	a
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	b
【自由記述欄】					
II-2-(3) ①職員一人ひとりに対する育成の取組については、「能力考課表」や「成果・実績考課表」の中で職員の目標管理が行われていることが確認でき、年3回の面談により進捗状況やアドバイスが行われているとの説明を受けた。また、「階層別人材育成計画」が策定されており、その計画をもとに、一人ひとりにあった研修が計画されるなど、効果的な取組が行われていることが確認できた。 ②職員の教育・研修については、法人において「階層別研修計画」に示されていることを確認した。 ③職員一人ひとりの教育・研修機会の確保については、外部研修は回覧で職員に案内するほか、施設長がパソコンの中で個別の研修表を作成して、資格の取得状況や研修履修状況などを確認し受講を進めるなど、積極的に取り組んでいることが聞き取れた。また、OJTについても経験等に配慮し、適切に行われていることを聞き取ることが出来たため、自己評価bをaとした。 II-2-(4) ①実習生等の受け入れ体制の整備については、「実習生受け入れマニュアル」は確認できたものの、基本姿勢の明文化については確認できなかった。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	b
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	a
【自由記述欄】					
II-3-(1) ①運営の透明性確保のための情報公開について、法人のホームページにおいて「事業報告」や「決算書類」「事業計画」「予算書」が確認できた。しかし地域に向けた事業所の存在意義や役割を明確にするための広報誌やパンフレットは確認できなかった。 ②法人が税理士と顧問契約を結び、施設長等への研修機会を設け、経営・運営に対する分析や助言を受けられる機会を設けるなど、公正で透明性の高い経営及び運営がなされていることを確認した。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 障害のある本人と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	a
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	b
	25	① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	a	
	26	① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	b	b	
	27	② 地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている。	b	b	

**[自由記述欄]**

II-4-(1) ①障害のある本人と地域との交流については、方針の中で基本的な考え方が明示されており、「吉田山の清掃」や「オータムフェスタ」など地域の行事に参加している状況の説明があり、積極的な関わりがあることが聞き取れた。また、利用者の日常的な地域との関わりについてはアセスメントシートにも記載があり、確認することができた。

②ボランティアの受入れについては、近衛中学校からの体験実習などを行っているが、基本姿勢が明文化されておらず、マニュアルなどの整備はなされていなかった。

II-4-(2) ①必要な社会的資源の明示と関係機関との連携については、「京都市北部障害者地域自立支援協議会」に参加して地域の福祉課題の情報共有を行うなど、地域でのネットワーク化に取り組んでいることを聞き取った。また、職員間では支援会議での情報の共有、パソコン内でのファイルの共有が行われていることを会議録及びパソコンの共有ファイルにより確認した。

II-4-(3) ①施設の機能の地域への還元については、町内会への場の提供や五山送り火の際の屋上開放などを実施しているが、当該事業所の特性や専門性を活かした支援活動は行われておらず、災害時における事業所の役割についても確認できなかった。

②地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動については、「左京区社会福祉協議会主催の福祉大会」の参加や「京都市北部障害者地域自立支援協議会」への参加を通して地域の福祉ニーズの把握には努めているが、地域貢献に関わる活動や事業にはつなげられていない。

### III 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
III-1 本人本位の福祉サービス	III-1-(1) 障害のある本人を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 障害のある本人を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a
		29	② 障害のある本人のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	b	a
	30	① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	a	
	31	② 福祉サービスの開始・変更にあたり障害のある本人（家族・成年後見人等含む）にわかりやすく説明している。	b	a	
	32	③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a	b	

**[自由記述欄]**

III-1-(1) ①利用者本人を尊重した福祉サービス提供については、理念や基本方針に障害のある本人を尊重したサービスの実施について明示であることを確認した。また、職員が研修会に参加し支援会議の場などで報告を行っていることを会議録で確認した。さらに重要事項説明書にサービスの提供内容や利用料金などが明確に記載されていることも確認できた。

②プライバシー保護等の権利擁護に配慮したサービス提供については、「京都市よしだ学園・支援者接し方マニュアル」にプライバシー保護に関して記載されていることを確認し、職員にも周知されていることを聞き取った。また施設見学の際に一人になれる部屋が確保されていることを確認できたので自己評価bをaとした。

III-1-(2) ①福祉サービス選択に必要な情報提供については、パンフレットに大きく写真が使っており、左京区の保健福祉センターなどにも置いてあることを聞き取った。また新しくパンフレットを作成中で今年度中に完成予定であることも聞き取れたので自己評価bをaとした。

②サービスの開始・変更にあたり本人にわかりやすく説明しているかについては、重要事項説明書の内容を障害のある本人や家族に丁寧に説明し、サービス開始の同意を得ていることが聞き取れたので自己評価bをaとした。

③福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っているかについては、本人や家族の希望に合わせてサービスの移行に取り組んでいることは聞き取れたが、福祉サービスの継続性に配慮した手順と引継ぎ文書が確認できなかったため、自己評価aをbとした。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
III-1 本人本位の福祉サービス	III-1-(3) 障害のある本人のニーズの充足に努めている。	33	① 障害のある本人のニーズの充足に向けた取組及び相談や意見を述べやすい環境を整備している。	b	b
		34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	b
	III-1-(4) 障害のある本人が意見等を述べやすい体制が確保されている。	35	② 障害のある本人からの相談や意見に対して把握する仕組みがあり、組織的かつ迅速に対応している。	b	b
		36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	b
	III-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	37	② 感染症の予防や発生時における障害のある本人の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	a
		38	③ 災害時における障害のある本人の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	a

**[自由記述欄]**

Ⅲ-1-1-(3) ①ニーズの充足に向けた取組みなどについては、定期的な面談を行っており、作業の休憩時などに障害のある本人に声をかけをしたり相談を受けたりしていることは聞き取れたが、相談・意見・苦情記入カード等の配布や匿名のアンケートの実施状況は確認できなかった。

Ⅲ-1-1-(4) ①苦情解決の仕組みについては、「京都市よしだ学園苦情解決要綱」に苦情解決の体制について定められており、玄関には「苦情解決のためのポスター」が貼り出されていることを確認したが、苦情記入カードの配布やアンケートなどは実施されておらず、本人や家族が苦情を出しやすい工夫がされているなどの状況は確認できなかった。

②相談や意見に対しては、作業の休憩時間などに声をかけをしたり意見を聞いたりしていることは聞き取ったが、相談や意見を受けた際の記録方法などが示されたマニュアルは整備されていない。

Ⅲ-1-1-(5) ①リスクマネジメント体制については、「事故防止マニュアル」や「緊急対応マニュアル」「ひやりハットケース記録」が整備されており、会議録でひやりハットのケースについて報告などがされていることを確認できたが、障害のある本人一人ひとりの健康管理票やカードは整備されていない。

②感染症の予防や発生時の安全確保の体制については、「感染症の対応マニュアル」が整備され、管理体制についても記載されている。今回のコロナ感染についても「新型コロナウイルス感染防止に向けた対応について」のマニュアルが整備されていることを確認し、職員にも徹底されていることを聞き取った。また人が密になりやすい食堂はパーテーションで区切れ食事の時間をずらすなどの工夫もされているので、自己評価bをaとした。

③災害時の安全確保については、「非常災害対策計画(防災マニュアル)」が整備され、防災のための機材などの備蓄の項目があることを確認した。また、消防署による講習や指導を受けていることを聞き取った。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの一定の水準を確保するための実施方法が確立している。	39	① 提供する福祉サービスについて一定の水準を確保するための実施方法が文書化され福祉サービスが提供されるとともに見直しをする仕組みが確立している。	b	a
		40	① アセスメントに基づく個別支援計画等を適切に策定している。	a	a
		41	② 定期的に個別支援計画に基づく評価・見直しを行っている。	b	a
		42	① 障害のある本人に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	a
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	43	② 障害のある本人に関する記録の管理体制が確立している。	b	b

**[自由記述欄]**

Ⅲ-2-(1) ①一定の水準を確保するための体制については、業務手順マニュアルが整備されており、職員全員がいつでも閲覧できるようにパソコン内の共有フォルダに格納されていることが確認できたので、自己評価bをaとした。

Ⅲ-2-(2) ①アセスメントに基づく個別支援計画を適切に策定しているかについては、「個別支援計画」の中に利用者の意向の項目が設けられており、「モニタリング報告」や「アセスメント面談記録」をもとに計画が策定されていることを確認した。

②評価・見直しについては、半年に1回モニタリング面談が行われており、毎週開かれる支援会議で見直しについても意見交換していることが「支援会議録」で確認できたため、自己評価bをaとした。

Ⅲ-2-(3) ①サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有されているかについては、「ケース記録」に統一したフォーマットで記録されていることを確認し、パソコンのネットワークシステムで全職員に共有されていることが聞き取れたので、自己評価bをaとした。

②記録の管理体制については、「社会福祉法人京都育成の会個人情報保護規程」が整備されているが、記録の持ち出しと廃棄などに関する規程の整備状況は確認できなかった。

**A 障害のある本人を尊重した日常生活支援**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 支援の基本理念	A-1-(1) 自立支援	44	① 障害のある本人の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a	a
		45	① 障害のある本人の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	b	a
		46	① 誰もが当たり前暮らしを促せる社会の実現に向けた取組を行っている。	b	a

**[自由記述欄]**

A-1-(1) ①障害のある本人の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っているかについては、「個別支援計画書」の中に障害のある本人の意向の欄があることを確認し、毎年の1泊旅行や日帰りのレクリエーションでも行先の希望を聞いたり昼休憩の時間にはダンスやカラオケなど、本人の好きなことを選ぶことができるように工夫していることが聞き取れた。

A-1-(2) ①権利侵害の防止については「障害者虐待防止マニュアル」が整備され、外部虐待防止研修にも毎年職員が参加して内部研修で報告していることが聞き取れたので、自己評価bをaとした。

A-1-(3) ①誰もが当たり前暮らしを促せる社会の実現に向けた取組については、ノーマライゼーションの推進についての研修を行っていないということで自己評価はbであったが、実施している研修のテーマ及び内容がノーマライゼーションの推進につながる研修であることが聞き取れたため、aとした。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 生活支援	A-2-(1) 意思の尊重とコミュニケーション	47	① 障害のある本人（子どもを含む）の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	b	b
		48	② 障害のある本人の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a	a
		49	③ 障害のある本人の障害の状況に応じた専門的かつ多角的な視点から支援を行っている。	a	a
	A-2-(2) 日常的な生活支援及び日中活動支援	50	① 個別支援計画に基づく日常的な生活支援及び日中活動の支援を行っている。	a	a
	A-2-(3) 生活環境	51	① 障害のある本人の快適性と安心・安全に配慮した環境が確保されている。	b	a

**[自由記述欄]**

A-2-(1) ①コミュニケーション手段の確保と支援については、現在は会話によるやり取りでほとんどは対応できているが、コミュニケーションが難しい本人に対してはカードを作るなどの工夫をしてきた他、職員同士での情報交換や、家族へのヒアリングを行っていることを聞き取った。

②本人の意思を尊重した支援については、相談室が設けられていることを施設見学で確認し、組織外に相談したい場合には第三者委員会が設置されていることを玄関に貼り出されているあるポスターで確認した。

③障害状況に応じた支援については、支援会議の会議録で障害がある本人の行動や生活の状況について話し合われていることを確認した。

A-2-(2) ①日常的な生活支援や日中活動の支援については、個別支援計画に基づき、適切な支援が行われていることや、面談時に家庭での入浴の状況なども調べ、一部個別の排泄介助も行われていることを聞き取った。また送迎サービスは実施されていないため、移動支援については非該当とした。

A-2-(3) ①安心・安全に配慮した環境整備については、施設見学で作業場所や食堂などが安全・安心に配慮されていることを確認し、玄関や非常口には防犯カメラが設置され記録されていることが確認できたので、自己評価bをaとした。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 生活支援	A-2-(4) 機能訓練・生活訓練	52	① 障害のある本人の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	非	非
	A-2-(5) 社会生活を営むための支援	53	① 障害のある本人の希望と意向を尊重した社会生活を営む力をつけるための支援を行っている。	a	a
	A-2-(6) 健康管理・医療的な支援	54	① 障害のある本人の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a	a
		55	② 医療的な支援について適切に提供（連携）する仕組みがある。	a	a
【自由記述欄】					
A-2-(4) 非該当 A-2-(5) ①障害のある本人の意向と希望を尊重した社会生活への支援については、本人の希望を聞いて毎年の旅行先やレクリエーションの場所を決め、旅行やレクリエーションを社会参加や学習の機会としていることを聞き取った。 A-2-(6) ①健康状態や体調変化の対応などについては、毎日の検温、観察等と本人への聞き取りで健康状態の把握に努めているほか、年一回の健康診断や歯科検診、医師による往診でバイタルチェックを行っていることを聞き取った。 ②医療的な支援については、服薬の管理は職員で共有できるよう記録し、医師から頻繁に使用しないようにとされている薬については、障害のある本人と話し合い、一緒に考えるようにしているなどの状況を聞き取ることができた。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 生活支援	A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	56	① 障害のある本人の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	非	非
	A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援	57	① 障害のある本人の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a	a
	A-2-(9) はたらくことや活動・生活する力への支援	58	① 障害のある本人の活動・生活する力や可能性を尊重した支援を行っている。	a	a
		59	② 障害のある本人に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a	a
【自由記述欄】					
A-2-(7) ①非該当 A-2-(8) ①家族との連携・交流については、「連絡帳」で情報の共有していることを確認し、月に1回の家族の会で助言や支援を行っていることを聞き取った。 A-2-(9) ①障害のある本人との面談や会話などを通じて、各人の活動や生活する力、可能性を引き出せるよう工夫していることを聞き取った。 ②日々の作業を4つのグループに分けて、本人の希望や適性、他の人との相性なども考慮して作業グループを作っていることを聞き取った。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-3 就労支援	A-3-(1) 就労支援	60	① 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	非	非
【自由記述欄】					
A-3-(1) ①非該当					